

◆基本テーマの課題等検証(第2回市民検討委員会に備えて…)

基本テーマ	メリット		デメリット		左記の考えに至った経緯
	市民にとってのメリット	市民以外にも及ぶメリット	市民にとってのデメリット	市民以外にも及ぶデメリット	
基礎テーマ 「緑化」	①憩いの場の提供 ②緑化地帯の活用による健康福祉増進(散歩、森林浴) ③景観 ④投資金額が少ない	①地球環境の保全	①防犯に対しての不安 ②火災に対して不安	①観光施設が少ないことへの不満	地球温暖化への不安、財政支出の抑制
付帯テーマ ① 「防災」	①安心、安全の暮らし ②災害時に中心街で生活できる ③災害発生時の不安解消 ④施設、情報集中による計画的な復興が可能	①周辺自治体の災害時にも活用(例、山古志村集団移転)	①短期的な活用でないで、わかりにくい活用法 ②観光振興、産業に対する効果がない ③災害時以外活用しない ④市内周辺部住民のサービスの恩恵が低い	①特になし	実体験による
付帯テーマ ② 「行政サービス」	①現庁舎近くで、他のサービス施設と近接しており、利便性が向上される。	①特になし	①行政サービス施設を新発田城前に建設する必要があるか賛否両論が発生するデメリット	①メリットがない事がデメリットである。	市庁舎は効率的活用するならば高層化すべきであるので、景観上不適、その他の行政サービス施設の新たな建設はコンパクトシティ、少子化に逆行。
付帯テーマ ③ 「歴史・文化」	①復元した新発田城との一体感 ②わかりやすい歴史、文化の継承ゾーンとなる ③わかりやすく新発田を誇れるゾーン ④観光客増による観光振興、産業振興の効果	①観光施設が近接となる ②多くの歴史文化に連続して触れられる	①更なる財政支出 ②将来に渡る維持管理費の負担	①特になし	新発田城復元運動に参加した実体験
付帯テーマ ④ 「生涯学習」	①高齢化の対策 ②市民文化の向上 ③ゆとりの場として、青少年健全育成にも寄与	①特になし	①重複施設がある ②運営するソフトが明確でない ③新たな財政支出	①メリットがない事がデメリットである。	
付帯テーマ ⑤ 「賑わい創出」	①中心市街地の産業振興 ②産業振興による雇用創出	①利便性向上、魅力ある事業により外出先の選択肢が増える	①にぎわい創出施設を新発田城前に建設する必要があるか賛否両論が発生するデメリット ②新たな財政支出 ③事業内容が問題であり、わかりにくい活用方法である	①市民以外で、恩恵を受ける人が少ない。	

◆基本テーマの課題等検証(第2回市民検討委員会に備えて…)

基本テーマ	メリット		デメリット		左記の考えに至った経緯
	市民にとってのメリット	市民以外にも及ぶメリット	市民にとってのデメリット	市民以外にも及ぶデメリット	
基礎テーマ 「緑化」	気軽に足を運べる公園があることは大切。憩いの場が増える。	観光客にとっても、緑は心安らぐスポットになる。	植栽の維持費がかかると市民負担が増える。	特になし	憩いの場としての緑化を考えた。
付帯テーマ① 「防災」	避難場所や待ち合わせ場所としての利用可能。	近隣市町村で避難場所が足りない場合に利用できる。	建物や起伏が多いと仮設住宅が建てにくい。	特になし	地震を想定。
付帯テーマ② 「行政サービス」	行政機能が一箇所に集約できれば市民にとっては便利。駐車場も道を渡らなくてよくなる。	車通勤の職員駐車場を近くにとれるのではないかな。	市役所建設費の市民負担が増えるのでは。	特になし	市役所移転を想定。
付帯テーマ③ 「歴史・文化」	新発田の歴史をしる場が増える。	観光としての歴史紹介の場を楽しめる。	歴史に興味のない人には価値がない。	特になし	歴史紹介する施設建設を想定。
付帯テーマ④ 「生涯学習」	特になし(今で十分)	特になし	施設維持費増大により市民負担が増える。	特になし	図書館やカルチャー施設を建設した場合を想定。
付帯テーマ⑤ 「賑わい創出」	イベント開催しやすい整備を行えば、市民からも多くの開催提案が出し易くなる。	新発田祭りへ来る来街者の駐車場として利用できる。	特になし	特になし	イベント開催を想定。

◆基本テーマの課題等検証(第2回市民検討委員会に備えて…)

基本テーマ	メリット		デメリット		左記の考えに至った経緯
	市民にとってのメリット	市民以外にも及ぶメリット	市民にとってのデメリット	市民以外にも及ぶデメリット	
基礎テーマ 「緑化」	・子供からお年寄りの憩いの場 ・健康増進	・特になし	・夜間などの安全性	特になし	
付帯テーマ ① 「防災」	・避難場所 ・中心街により市民の不安が解消	市外の市民も活用できる	・何処まで安全確保ができるのか	中心街の為わかりづらいのではないかと	中心街に避難場所が無い事から
付帯テーマ ② 「行政サービス」	特になし	特になし	特になし	特になし	高さに制限がある為、行政関係を持つてくるのは難しい
付帯テーマ ③ 「歴史・文化」	・新発田の歴史、文化をわかりやすく展示する事で市民の意識向上 ・異なる世代との交流	・観光施設が近隣にある為触れやすい	・財政面での費用・持続が可能なのか		新発田には観光する場がなく、しかも新発田市民に浸透していない、歴史や文化に興味を持ってもらうように提供しなくては見に来る人は居ないと思う。
付帯テーマ ④ 「生涯学習」	・課外授業活用により新発田を学べる ・市民の文化向上	・特になし	・歴史資料が備わるのか ・同じような施設が利用されて居ない事への不安	・観光施設が充実していない為市外に浸透しにくい	特に子供達にはこれからの新発田を担ってもらうためには新発田の事に触れる機会を増やす。その為にはわかりやすく、行きやすい場を提供すべき。
付帯テーマ ⑤ 「賑わい創出」	・新発田の産業の向上 ・市民がイベントをする事により賑わい向上	・イベントをする事により市外からの参加も可能	・市民にとって利用しにくい物にならないか	・観光施設が充実していない為市外に浸透しにくい、わかりづらい	とにかく、新発田市民が色々な利用の仕方によって楽しめなければ、市外の人達を呼ぶ事は出来ないと思う。観光の前に新発田市民の事を考えて初めてそこから新発田は良い所だと市民が思い市外に発信できるのではないかと。

◆基本テーマの課題等検証(第2回市民検討委員会に備えて…)

基本テーマ	メリット		デメリット		左記の考えに至った経緯
	市民にとってのメリット	市民以外にも及ぶメリット	市民にとってのデメリット	市民以外にも及ぶデメリット	
基礎テーマ 「緑化」	いこいの場を提供できる。 将来病院跡地を何かに利用することになったとき、すぐに対応できる。 イニシャルコスト、ランニングコスト、共に費用が抑えられると思います。	いこいの場を提供できる。 公園を何かの目的に特化してよい物が出来上がれば、市民以外の利用者も期待できる。たとえ訪れる市民以外の方がわずかでも、費用対効果で考えるともっとも効率が良いと思います	デメリットは無いと思います。		
付帯テーマ ① 「防災」	もしものときの備えとなるので良い。 市民検討委員会では「病院跡地を防災の拠点」と位置付けするだけにしており、具体的な設備や規模等について何かを決める必要は無いと思います。しかし、この跡地に「こんな防災設備があったら良い」などの意見はあげてもかまわないのではないかと思います。		デメリットは無いと思います。 もちろんコストは掛りますが、近年大地震が頻発しているので、市民の理解は得られると思います(もちろんなるべくコストを抑えるよう工夫と努力が必要です)		
付帯テーマ ② 「行政サービス」	老朽化しつつある市庁舎を近い将来建て替えることになると思いますので、この跡地に新庁舎を建てたら良いと思います。 なので市民検討委員会でこの跡地を「新庁舎建設予定地」としたら良いと思います				
付帯テーマ ③ 「歴史・文化」	財政的に許される範囲で、新発田城の何かを行ったら良いと思います		現在ガソリンが値上がりし続けている状況です。 そして冬になったら暖房費の補助が欲しいと市民から要望されると思います。 そのような時勢なので、今すぐにはなく、数十年先でもかまいませんが、時期をよく見て行ったら良いと思います		
付帯テーマ ④ 「生涯学習」			生涯学習センターがあるにもかかわらず、新たに生涯学習の施設をつくる必要があるのか？と思います。 また多くの市民も同じように思うと思います。		
付帯テーマ ⑤ 「賑わい創出」			車で移動する人達は、車を駐車して目的地まで歩いていくことはしないので、商店街や新道に賑わい創出するのは難しいと思います。なので駐車場にしても利用率は低いと思います。		

◆基本テーマの課題等検証(第2回市民検討委員会に備えて…)

基本テーマ	メリット		デメリット		左記の考えに至った経緯
	市民にとってのメリット	市民以外にも及ぶメリット	市民にとってのデメリット	市民以外にも及ぶデメリット	
基礎テーマ 「緑化」	<ul style="list-style-type: none"> 古くから残る樹木のいわれを学び大切にすることで、環境教育にも役立つ。 綺麗な花を見るのは気分的にも良い。 近年、園芸療法として、植物を通じて人が本来持っている記憶、知識、興味などに働きかけ、治療やリハビリに役立てたり疾患の治療、心身の健康増進、生きがいづくり、地域とのコミュニティーの形成などの効果も期待されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 姉妹都市の花木を植えることで交流にもつながる。加賀市＝花菖蒲等、須坂市＝レンゲツツジ等で、花を介しての交流の可能性も増える。 お城と花木の関連では、「高遠城の桜」の様に石垣だけしか残らないがその時だけでも花を見に多くの観光客が訪れるので、例えば「新発田城のヤマメ」のように定着すれば、訪れる方も増えるのでは。 	<ul style="list-style-type: none"> 生き物なので、枯れてしまったり剪定、冬囲い、雑草等の管理が必要。 害虫の発生。 毛虫等の発生で訪れた人がかぶれる可能性がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 花がキレイ等と訪れた人が、聞いていたイメージが違い不快になる。 	<p>城址公園の芝生の中心に大木があるが、そのいわれや愛称が着いていけばもっと愛着が湧くのではないかと思う。お城周辺(自衛隊の中も)には、古木も沢山残っている。そういった新発田の街を見つめて来た樹木を大切に残し、伝えることも必要だと思う。ただ花木を植えるのではなく、意味を持ってどのように生かすかが重要になると考えます。</p>
付帯テーマ ① 「防災」	<ul style="list-style-type: none"> 災害発生時に人命が救われる。 災害時の生活の不便さが改善される。 防災に対する取り組みを活用し、日常からの防災意識を働きかける。(防災フェア等開催し、賞味期限切れの入れかえの際に保存食の試食等を行う等) 	<ul style="list-style-type: none"> 災害時の連携や協力のシステムがあれば、備蓄してあるものなどを支援物資として活用できる可能性も増える。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活には不必要なのでそのために確保しないといけない空間や物品の管理が必要。 過剰になると人任せになり個々で可能な対策への意識が欠乏する(行政まかせ)。 システムが災害時機能しないと逆に混乱する。 100%の対策は無いので過信につながる。 	<ul style="list-style-type: none"> 期待していた連携システム等が機能しないと不満を感じる。 	<p>重要な備えであるが、普段は必要としないものなので、共存出来ることよい。日常の中でも無駄のないように生かせることよい。もし市庁舎が移転するのであれば、1箇所集中せず水、食料、避難場所、仮住居等を市庁舎跡地と分割して考えても良いと思う。緊急時も大切だが、日常も大切だと考えます。</p>
付帯テーマ ② 「行政サービス」	<ul style="list-style-type: none"> 建物だけではなく、どういうサービスが受けられ、解りやすく利用出来るかが重要。 アチコチ行かずに用事が完結できると良い。 高齢者も多くなるので、車ではこれないケースもあり、訪問サービスや交通手段も検討し、自宅前から役所前までつながるとよい(高齢者の事故防止にもなる)。 	<ul style="list-style-type: none"> 観光情報等も含め市民以外の人にも有意義に活用していただく。 市民サービスが充実していれば、地元に戻って真似をして取り入れる可能性も出てくる。 	<ul style="list-style-type: none"> 現状よりもサービスが解りやすく充実していなければ不満の対象になる。 サービスに見合わない建物や維持管理費のかかる無駄なスペース等があれば、財源に影響が出る。 新発田は、高齢者が歩いているケースが多いので、車で訪れるのに便利だけでは困る。 	<ul style="list-style-type: none"> 観光に訪れる人が多い立地になれば、例えば市役所の駐車場が祭日閉まっていると不親切なイメージを受けたりと市全体のイメージと直結する。 	<p>便利か不便かは、立地条件によることも多いが、交通手段等のアクセス方法の検討も必要だと思う。歴史的にも行政と城は関係があるので適当なところは思うが、建物や立地でなく、どのようなサービスを行うかという人が動かすアイデアや工夫の方が大事で、その取り組みを生かすための施設のデザインを検討することが順序として必要だと考える。</p>
付帯テーマ ③ 「歴史・文化」	<ul style="list-style-type: none"> 過去を学び、先祖を大切にすることが、自身の存在意義や未来や子孫を大切にすることにもつながる。 郷土出身の歴史上の人物を学ぶことで、関連する事柄にも興味を持つことにつながる。 長年にわたり伝わってきた歴史や文化を引き継ぐことは、郷土意識を持つためにも必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 新発田藩として領地であった近隣市町村との歴史交流を図ったり、藩として関係の深かった他県との交流の切欠にする。 新発田は、歴史的にも重要なものも多く残っていて、歴史的好きな人や古い建物が好きな人にとって興味を引くような話も多いが、伝えられていなかったり宣伝されていないものが多く、改善すれば、そういう人にとって即メリットになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 歴史・文化に固執すぎると、現実の生活とかけ離れてしまう。 歴史的な建造物も生かさなければ、維持費だけがかかり、単なるお荷物になってしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> 貴重な財産があるにもかかわらず知らないうちに壊されていたり、貴重なものであることを知らせてもらえていないこと。 	<p>お城や武家屋敷等、失った建物を復元し、歴史を感じ、学ぶことは大切だが、白壁兵舎、旧新潟大学の木造校舎、個人の蔵など今残っているだけでも壊されていく物も見直し、その場所を残すことがベストだが、無理ならば他の方法で保存するべきだと思ふ。そして今に生かして残すための活用方法を工夫検討することが、歴史文化を継承する上で重要だと考える。</p>
付帯テーマ ④ 「生涯学習」	<ul style="list-style-type: none"> 学びたい時、学びたいものがそこに行けばあることで向上心や生きがいにつながる。 高齢者から幼児まで様々な交流が生まれる可能性がある。 学生の様々な実践の場として活用されれば生きた勉強も出来、退職後の経験者がアドバイザーするなどの交流もはかれる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学ぶのものの一部に、1日体験的なものも設定する。 郷土史等で学んだ内容が、観光案内等に生かすことが出来る。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用人数に制限がある。または集まらない。 講師等の確保や運営の問題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 市内対象のもので参加できない 	<p>同じ趣味をもつもの、高齢者から子供達へ、新発田の伝統文化継承等々、学ぶことには様々な動機やスタイルがあると思います。空間を創っても使う人がいなければ意味がないし、やりたいた人がいても規制が多かったり空間がなければ出来ないことも多くなる。あらゆるニーズに応えるために必要なものを把握し整理することが重要だと考える。</p>
付帯テーマ ⑤ 「賑わい創出」	<ul style="list-style-type: none"> お城や花をみて歴史的な建物等で①～④など色々あれば行きたい。①飲食～日替わりシェフ制度や模擬出店等 ②商店～商業実習や起業に向けての空間提供 ③物産館 ④歴史や偉人館等 ⑤伝承館 冬場に歩いたりイベント可能な雁木スペース。 冬の新発田城を観察できる空間演出等 満足感が得られ便利だとまた行きたくない 	<ul style="list-style-type: none"> 新発田の人が飽きずに満足できる内容であり、親切的な受け入れがあれば、市外の人にも満足感がありまた来たくなる要素はある。 新発田独自の景観や文化が楽しめる、美味しいものやお土産が購入できれば、来てよかったと思う。 新発田でしか感じられないものや雰囲気があれば、また来たくなる。 	<ul style="list-style-type: none"> 人が集まることでの新たにトラブルが発生する可能性がある。 治安維持や規制が必要になる可能性がある。 町全体として考えなければ、偏りが生まれ、不平不満が生まれる可能性がある 	<ul style="list-style-type: none"> 宣伝方法や案内パンフを解りやすく正確にしないと不便をかける。 歩行者や車で来る場合の案内板や標識等も明確に解りやすくしないと渋滞や事故の誘因となる。 	<p>賑わいを生むには、様々な仕掛けが必要だと思ふ。愛着を持ってもらうために花や木を植えたり、様々なイベントがあったり人が集まることを計画したり、景観がよかったり、遊び場、情報が得られる、便利なものがある、美味しいものがある等自然に足を運びたくなる仕掛けをつくらせ、車で来て帰るだけでなく、歩きたくなる歩ける街になるとよいと考える。</p>

◆基本テーマの課題等検証(第2回市民検討委員会に備えて…)

基本テーマ	メリット		デメリット		左記の考えに至った経緯
	市民にとってのメリット	市民以外にも及ぶメリット	市民にとってのデメリット	市民以外にも及ぶデメリット	
基礎テーマ 「緑化」	緑化だけを考えるなら、郊外の緑を守る方がいいのでは。当該地という緑化とは、この場所に来て、緑の必要性を感じてもらふ場所としての位置づけ。	あり	なし しいて言うならば、維持用のコストがかかる。	なし	新発田には、今、取り戻さなければならぬ3つの自信があるはず。以前は、新発田に暮らす皆が持っていた自信。それはすなわち、
付帯テーマ ① 「防災」	学校などの強制的な教育では、身につかない、防災の必要性を市民の共通認識にするためにも歴史博物館に新発田の大火の歴史や資料を展示。また、地震にも耐える門などの構造的機能の学習。お堀を切ることで調整池の役割。	なし	「緑化」と「防災」だけでは、永遠にランニングコストがかかるだけ。地下タンクの埋設は、地震の際に破損して使用できない可能性もあるのでは。	歴史と文化のまちをうたいながら、当該地を城下町と関連性のない利用は、新発田の価値を下げるのでは。駐車場が防災時にも利用できるという、付帯テーマ③④⑤の付属的役割でいいのでは。	1、自分の暮らす新発田市に自信を持つ事。 2、新発田の文化・歴史・自然に自信を持つ事。 3、新発田に暮らす自分自身に自信を持つ事。
付帯テーマ ② 「行政サービス」	街の中心地にあること。ただし、市が合併により拡大した現状では、車での利用も考えるべき。また、さらにネット社会がすすむと各種サービスが様々な所で受けられる可能性も出てくる。	なし	12m以下の市庁舎などありえないのでは。当該地の行政サービスは、観光客との駐車場併用は市民にとっても不便。	歴史と文化のまちをうたいながら、当該地を城下町と関連性のない利用は、新発田の価値を下げるのでは。また、市民との駐車場併用は観光客にとっても不便。	今回のプロジェクトが、その失われた3つの自信を取り戻す開発にすべきであると考えます。
付帯テーマ ③ 「歴史・文化」	櫓・門・堀・石垣などの復元と歴史博物館が城下町のシンボルとなる。城下町新発田を発信することにより飲食物販・流通など各種業態へ影響が波及。経済の活性化。飲食物販ゾーン城下町モールの設置により施設維持費用の捻出。フィルムコミッションの設立。	櫓・門・堀・石垣などの復元と歴史博物館を含めた新発田城エリアが観光客のスタート地点となる。歴史博物館には資料の他に偉人や地元産業・観光ポイントの紹介があり、当該地から市内各所への散策が始まる。共通入館券の発行。	事業費が発生。ただし、まちづくり交付金により、用地費・武家屋敷復元を含めた全事業費の4割を国が補助(まちづくり交付金は、地域の歴史・文化・自然環境等の特性を活かした地域主導の個性あふれるまちづくりを実施し、全国の都市の再生を効率的に推進することにより、地域住民の生活の質の向上と地域経済・社会の活性化を図るための制度)	なし	
付帯テーマ ④ 「生涯学習」	派手さや大きさはないものの全国にも誇れる新発田の歴史や文化を学習・または再認識。歴史博物館には各種資料の他に体験学習室(伝統文化・技術・遊びなどを体験)や視聴覚ホール(文化財等の映像作品の上映、講演会、講座などを開催)。	城下町の復元によるまちおこしが全国的にもモデルケースになりうるのでは。城下町サミットなど。生きることの尊厳さを感じる場としても「遺跡の保存」の重要性を新発田から発信。視聴覚ホールにて映像学習(歴史や台輪・あやめなどの季節の行事)	事業費が発生。ただし、まちづくり交付金により、用地費・武家屋敷復元を含めた全事業費の4割を国が補助(まちづくり交付金は、地域の歴史・文化・自然環境等の特性を活かした地域主導の個性あふれるまちづくりを実施し、全国の都市の再生を効率的に推進することにより、地域住民の生活の質の向上と地域経済・社会の活性化を図るための制度)	なし	
付帯テーマ ⑤ 「賑わい創出」	城下町新発田の復元により様々なイベントが可能。歴史的な史実に基づきながら、新発田ならではのイベントを季節ごとに実施。(市民大茶会・興入れ(結婚式)等)。飲食物販ゾーン城下町モールの設置により施設維持費用の捻出。	城下町新発田の復元により様々なイベントが可能。歴史的な史実に基づきながら、新発田ならではのイベントを季節ごとに実施。(市民大茶会・興入れ(結婚式)等)。観光客の要望の多い飲食物販ゾーンの設置。	なし しいて言うならば、近隣の交通量の増加。しかし多くの方は歓迎するはず。	なし	

◆基本テーマの課題等検証(第2回市民検討委員会に備えて…)

基本テーマ	メリット		デメリット		左記の考えに至った経緯
	市民にとってのメリット	市民以外にも及ぶメリット	市民にとってのデメリット	市民以外にも及ぶデメリット	
基礎テーマ 「緑化」	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活に潤いを与えぬ 木の種類・植栽方法によっては防火効果がある 	<ul style="list-style-type: none"> 地球温暖化への歯止めの一助となる 	<ul style="list-style-type: none"> 一回木植えたら済むので体系的な取組が必要であり、他テーマよりその度合いが高い(期間・コスト) 	<ul style="list-style-type: none"> コストに↑ 	
付帯テーマ① 「防災」	<ul style="list-style-type: none"> 防災教育の拠点となる 災害時は最寄り駅への被害を減らす 	<ul style="list-style-type: none"> 広範囲に及ぶ災害時には、災害時復旧活動時に役立つ 	<ul style="list-style-type: none"> ↑ 	<ul style="list-style-type: none"> ↑ 	
付帯テーマ② 「行政サービス」	<ul style="list-style-type: none"> 必要サービスがより簡便に受けられる 	<ul style="list-style-type: none"> 特：↑ 	<ul style="list-style-type: none"> 駐車場の問題について熟考必要 	<ul style="list-style-type: none"> ↑ 	
付帯テーマ③ 「歴史・文化」	<ul style="list-style-type: none"> 次世代へ文化を伝えることは義務であり、そのことが出来る 市民の市民としての満足度を高める 	<ul style="list-style-type: none"> 文化の継承は市民・市民以外を問わない 観光地として楽しめるのは楽しいこと 	<ul style="list-style-type: none"> ↑ 	<ul style="list-style-type: none"> ↑ 	
付帯テーマ④ 「生涯学習」	<ul style="list-style-type: none"> 生活に潤いを与え、生きがいを持って毎日を送ることが出来る 	<ul style="list-style-type: none"> コストに↑ (直接的には) 	<ul style="list-style-type: none"> 今ある施設との兼ね合いに一考の余地あり 	<ul style="list-style-type: none"> ↑ 	
付帯テーマ⑤ 「賑わい創出」	<ul style="list-style-type: none"> 商店街の活性化により買物が便利になり、市の財政にも上乗せ効果がある 	<ul style="list-style-type: none"> 観光地として楽しい 	<ul style="list-style-type: none"> 駐車場の問題について熟考必要 	<ul style="list-style-type: none"> ↑ 	

◆基本テーマの課題等検証(第2回市民検討委員会に備えて…)

基本テーマ	メリット		デメリット		左記の考えに至った経緯
	市民にとってのメリット	市民以外にも及ぶメリット	市民にとってのデメリット	市民以外にも及ぶデメリット	
基礎テーマ 「緑化」	有り 石垣上の様は近い将来伐採となるだろうから、土層と層を復元し、その上へ桜を植えたかどうか。あやめ城にふさわしく、垣の側端には花菖蒲、そして出来るだけ常緑樹を植栽すべき。	有り	無し	無し	当該地の歴史的・景観的背景を考慮して。
付帯テーマ① 「防災」	無し 本当に、緊急性があるのなら他の場所を考えるべき。(例えば新発田病院に近いJR用地に遊休地は無いのか?→怪我人・病人対策にうってつけと思える。)いずれにしろ、交通アクセスを最優先に考慮する必要がある。	無し	史実を無視した活用方法は城下町の優位性を自ら捨てることになる。歴史的遺産を生かした景観づくりが難しくなり、後世まで懐いを残すことになる。市の各種基本計画にそぐわないと思われるので問題がある。史実の改ざんになるので市民的コンセンサスを得にくい。(駅前の変門風ゲートの件を思い起こすべき)	新発田市は、史実に忠実な復元を行ったことで全国的な評価を得たにも関わらず、旧二の丸たる当該地を、隣りの本丸と関連性のない使い方をすれば、歴史遺産に対する破壊と受け取られ、多くの失望感を与える。歴史と文化の町等と認識されなくなる。	市の各種基本計画にそぐわないと思われるので問題がある。城下町のまちづくりには、独自の歴史をもとにしたstoryが必要。人にも、都市にも「らしさ」が求められる。新発田は「防災広場」等を設けている台東区や柏市等のような人口過密地帯では無く、土地も豊富にあるので、二の丸の輪郭をそのまま残す当該地を候補地にする必然性は無い。
付帯テーマ② 「行政サービス」	大手中の門復元を前提とするならば有り(但し、市庁舎建設はひんしゆくをかうだろう) 景観条例などに配慮し、歴史資料館等との住み分けが必要。	大手中の門復元を前提とするならば有り(但し、市庁舎建設はひんしゆくをかうだろう) 景観条例などに配慮し、歴史資料館等との住み分けが必要。	有り	有り	当該地の歴史的・景観的背景を考慮して。
付帯テーマ③ 「歴史・文化」	メリット大。大手中の門を復元し、歴史的建造物の表門・旧二の丸櫓が建つ本丸への入口とすべき。駐車場入口は紫雲寺側に設ける。中の門櫓があった付近へ歴史資料館を建設し、城下町新発田の歴史・文化の殿堂とすべき。大手中の門を復元すれば伝統工法による本格的櫓形門を体験学習できる。冬季間も利用できる。	メリット大。復元大手中の門～復元土橋門を経て、本丸で歴史的建造物や石垣を堪能し、歴史資料館で豊富な資料を見学することになるので大きな満足感が得られる。ここで買物や食事をして休ませてから、城址公園を経て(3～4年後に完成予定の白壁兵舎)を見学することも出来る。冬季間も寒さを気にせず訪れることが出来る。	無し	無し	当該地の歴史的・景観的背景を考慮し、(武家屋敷は早期の復原が望まれるが、場所については、文化財審議委員会等の意見を求め慎重に決める必要がある)
付帯テーマ④ 「生涯学習」	メリット大。景観に配慮した歴史資料館は城下だけでなく、旧新発田藩領域の歴史・文化の殿堂とすべき。子供から高齢者まで学べる場を併設(ジオラマ・プレゼンテーション)が出来る設備をもったミイティングルーム等々)文化会館・図書館・生涯学習センターと連携した活用も可能となる。	メリット大。市外からの来訪者にとって学び・安らぎの場となる。学術会議等の誘致も出来るようにしてはどうか。大手中の門を復元すれば伝統工法による本格的櫓形門を体験学習することができる。	無し	無し	当該地の歴史的・景観的背景を考慮して。
付帯テーマ⑤ 「賑わい創出」	メリット大。城址公園を併用して参勤交代行列の再現・時には台輪の運行展示等の観光・商業活性化イベントも計画できるのではないかと。中心市街地の活性化基地にもなりうる。(大手中の門前で藩主が台輪を見学した記録もある。新発田藩参勤交代行列記録もある)※地域交流センターでイベントがあるときは駐車場に使える。(台輪一斉廻り等)	メリット大。歴史資料館には資料展示だけでなく、現在観光客から最も求められている食事の場・買物の場・休憩の場を提供できるようにすれば歴史・文化・観光・賑わいが一体となって来訪者への満足度向上に寄与する。冬季間も寒さを気にせず訪れることが出来る。	無し	無し	当該地の歴史的・景観的背景を考慮して。

◆基本テーマの課題等検証(第2回市民検討委員会に備えて…)

基本テーマ	メリット		デメリット		左記の考えに至った経緯
	市民にとってのメリット	市民以外にも及ぶメリット	市民にとってのデメリット	市民以外にも及ぶデメリット	
基本テーマ 「緑化」	<ul style="list-style-type: none"> ○川の癒し ○散歩・ジョギングの楽しみ ○CO2を削減 	<ul style="list-style-type: none"> ○観光として楽しめる 	<ul style="list-style-type: none"> ○カラスがうるさい ○虫が出る ○ゴミの処理に緑は関係ない ○緑が田に、緑、山だから 	<ul style="list-style-type: none"> ○P代がかかるとイヤだ ○ど=1=2もあふ、緑地作りはいい。 	
付帯テーマ① 「防災」	<ul style="list-style-type: none"> ○近くに避難場がある ○地震、火災、水害などに役立つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○近隣市町民の避難場所になる 	<ul style="list-style-type: none"> ○113もカブチー、五公野、西、東、公口、Tなど ○学校も避難場所十分にある 	<ul style="list-style-type: none"> ○近隣市町民の避難場所として悪い。下越 ○下越全体として中心部に防災基地公園を作るべき。 	
付帯テーマ② 「行政サービス」	<ul style="list-style-type: none"> ○まとめたサービスが受けられるので便利。 	<ul style="list-style-type: none"> ○市の行政に用事がある方も便利。 	<ul style="list-style-type: none"> ○113ももの十分がある ○お金のやり取り、税金が少なくていいと思う。 		
付帯テーマ③ 「歴史・文化」	<ul style="list-style-type: none"> ○市の歴史・文化を学ぶ ○学校の社会科として利用 ○郷土愛が湧く 	<ul style="list-style-type: none"> ○観光として楽しめる ○新築地を観光として使う 	<ul style="list-style-type: none"> ○建設コストがかかる ○一度見学すればあとはありいかな。 ○管理費がかかるといけない 	<ul style="list-style-type: none"> ○一度観光すればいい。 	
付帯テーマ④ 「生涯学習」	<ul style="list-style-type: none"> ○人のつながりができる ○113が人々を繋ぐ ○楽しめる 	<ul style="list-style-type: none"> ○近隣市町民の方と共に学習、人が多くあつち。 	<ul style="list-style-type: none"> ○113、113あるのこの以上、いい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○新築地も113が役に立つ。 	
付帯テーマ⑤ 「賑わい創出」	<ul style="list-style-type: none"> ○市の土地を貸して民間が自由に活動できるように賑わい創出 ○民間中心 	<ul style="list-style-type: none"> ○市外の民間の方(会社個人)が自分の力を十分に発揮して楽しめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○人があつちと緑地として ○113がうるさいおれ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○魅力がある、行っていい(観光地) 	

◆基本テーマの課題等検証（第2回市民検討委員会に備えて…）

基本テーマ	メリット		デメリット？（問題点）		左記の考えに至った経緯
	市民にとってのメリット	市民以外にも及ぶメリット	市民にとってのデメリット	市民以外にも及ぶデメリット	
基礎テーマ 「緑化」	<ul style="list-style-type: none"> 誰でも利用できる 緊急時には避難場所として利用できる 人に会える、コミュニケーションの場 四季を感じることができる オブジェなどは郷土の作家のものを置く 		<ul style="list-style-type: none"> 冬期間は足が遠のく→環境や季節に応じた対応、整備必要 例：水はけのよい歩道、除雪等、足元の確保・雪や雪景色を楽しめる工夫・イベント（雑煮合戦等）とのタイアップ・ライトアップ 		<ul style="list-style-type: none"> みんなの庭 街と緑と人の調和 オープンなパブリックスペース
付帯テーマ ① 「防災」	<ul style="list-style-type: none"> 街のほぼ中心に位置するため、緊急時の対策拠点となりうる 自衛隊との連携 隣接する城址公園も避難場所になれば、一体で広い面積が確保できる 		<ul style="list-style-type: none"> 周辺道路が狭く、大型の緊急車両の通行がしにくいのでは 駐車スペースの確保 医療機関との連携はスムーズか 備蓄品、設備等の保管場所 通常時の有効利用 		<ul style="list-style-type: none"> 付帯テーマ 1～5まで、一つの建物を建設し、工夫して併用できるのでは。 県立跡地についてのみ考えるのではなく、街全体や周辺につても、それによりどのように影響していくのか、人の流れ、アクセス等も考慮しなければならない
付帯テーマ ② 「行政サービス」	<ol style="list-style-type: none"> 市役所の新築とした場合…耐震性、老朽化、狭い、といった現在の建築物としての問題がクリアとなる・駐車場が現在より広くとれる・情報化社会である現在の設備機器に対応しやすくなる 市役所が現在の場所のままとした場合…どのような行政サービスを県立跡地にもってれば市民にメリットがあるのか？ 		<ol style="list-style-type: none"> 1.の場合…市役所跡地の有効利用も併せて考える 2.の場合…市役所と近いので、どのように分けるのかを明確にする <ul style="list-style-type: none"> ・窓口を統一した方が混乱が少ないのでは 		<ul style="list-style-type: none"> ・市内に点在する観光施設や文化施設の「間」をどうつなぎ、どう利用するか。うまくすれば街全体（商店街も）巻き込んだ様々なイベントに対応でき、活性化につながるのでは ・「人」（私たち）にとって、今、この県立跡地に何が必要かを考えていかなければならない→コンセプトを明確に ・作っておしまいでなく、育てていく必要がある
付帯テーマ ③ 「歴史・文化」	<ul style="list-style-type: none"> 郷土の歴史を学ぶことで誇りと愛着が持てる 城址公園、図書館との関連性がある 小学校の授業の一環としてはどうか。子どものころから郷土の歴史に親しむ機会が設けられる 夜間開館 	<ul style="list-style-type: none"> 観光で訪れた人にも興味と関心を持ってもらえる→市内の他の観光地への拡大（関連性のある場所へ足が向くのでは） 最新のギャラリーやカフェも併設し、気軽に歴史・文化・アートを楽しめる 	<ul style="list-style-type: none"> ・何度も足を運んでもらえるような企画が大切 ・施設を新築する場合、歴史的景観を考慮するあまり、現代の感覚にそぐわない“昔風の建物”にならないよう検討が必要。建物自体は美しく、使用する素材や建材は環境に配慮したものを。色調は新築田の自然と調和するものにすれば、違和感なく受け入れられるのでは ・現存する古い建築物を移築し復元することは、昔のものの本物の良さや味わいがあり、歴史的価値もあると思われるが、現存しない昔の建築物をまったく新たに復元することは、本当に必要性があるのかをよく検討しなければならない 		<ul style="list-style-type: none"> ・金沢21世紀美術館や東京ミッドタウンの街づくり（ミッドタウンガーデン）など、参考にしたい事例は他にも多い ・総合デザイン及び各分野の専門家（ランドスケープ、建築家等）と一緒に考えていく、プロジェクトチーム
付帯テーマ ④ 「生涯学習」	<ul style="list-style-type: none"> 誰でも利用できる 図書館での席の不足を補える落ち着いたスペース確保 情報化社会に対応した学習設備等、設備の充実 利用時間の拡大 	<ul style="list-style-type: none"> 内容により市民以外にも利用可とし、PRを行えば近隣市町村からも利用があるのでは 	<ul style="list-style-type: none"> ・一部の人がしか利用しない ということにならないよう、幅広い内容の企画が必要 ・情報を広く発信する必要がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報が伝わりにくい ・利用を遠慮しがちが必要 	
付帯テーマ ⑤ 「賑わい創出」	<ul style="list-style-type: none"> 緑化及び上記のテーマが融合すればおのずと賑わうのでは ・さらに物産センター、おみやげ店、休憩スペース、食事のできる店等、人が集まりとどまる場所を作ること視野に入れる？→市の関与は難しく民間中心となる→市のサポート ・観光案内、商店街PRを兼ね備えることにより、街全体の活性化を図る 		<ul style="list-style-type: none"> ・周辺道路の整備、駐車場の確保、案内やサインの整備必要 		

◆基本テーマの課題等検証(第2回市民検討委員会に備えて…)

基本テーマ	メリット		デメリット		左記の考えに至った経緯
	市民にとってのメリット	市民以外にも及ぶメリット	市民にとってのデメリット	市民以外にも及ぶデメリット	
「緑化」	市の中心部の緑化は、市民の誇りであり、憩いの場所を提供する。	来訪者が魅力を感じる			緑化は基礎テーマであり、重要である。
「都市計画」	跡地周辺に短時間の大雨で排水機能(調整地)を持つお堀があると、安心できる。	来訪者も安心されて、移住を検討する可能性が生まれる。			
「産業・ビジネス」					
「歴史・文化」	歴史博物館と武家屋敷を建てる事により、学校教育・生涯学習に役立つ	来訪者が魅力を感じ、リピーターになる。			箱物を建設する事により10年後は利益をもたらす。
「生涯学習」					
「まちづくり」					

◆基本テーマの課題等検証(第2回市民検討委員会に備えて…)

基本テーマ	メリット		デメリット		左記の考えに至った経緯
	市民にとってのメリット	市民以外にも及ぶメリット	市民にとってのデメリット	市民以外にも及ぶデメリット	
基礎テーマ 「緑化」	憩いの場	〃	木道の芝生だけの広場では殺風景	〃	
付帯テーマ① 「防災」	災害時の避難所 防災基地	〃	防災だけでは足りない	—	
付帯テーマ② 「行政サービス」	新しい市役所 (老朽化集約)	観光案内	—	—	
付帯テーマ③ 「歴史・文化」	新発田城、城址公園と隣設しているので史料館などで新発田の再認識	観光ポイント	興味のない人にとってみればどうでもいい	—	
付帯テーマ④ 「生涯学習」	体育館の様なスポーツ施設があれば気軽にスポーツが楽しめる健康増進につながる カルチャースクール	大まなスポーツ大会催し物が呼べる	既存の施設だけでは足りないのか?	—	
付帯テーマ⑤ 「賑わい創出」	物産館などで土産を扱う。商工業者、新発田をアピール	観光客が土産を買いたがる	一部の市民や商店にしかメリットがない	—	

※基本的に大きな建物は造らない方がいいのでは。